

令和4年度熊本市人権教育・啓発基本計画推進会議で出された  
質問・要望等

1

児童虐待については日々報道もありますし、皆様意識が高いと思います。啓発があるから相談しやすく相談件数が増加してきているのかなと思いますが、それに対する対応が重要だと思いますので、そこに対する熊本市の対応、具体的な内容をお聞かせいただきたい。

(前田座長)

(回答)

市民の皆様に対し児童虐待に関する相談・通告窓口を市ホームページや市政だより等で周知するとともに、児童虐待防止に関心をもっていただくため、オレンジリボンキャンペーンに取り組んでおります。また、相談に適切に対応できるよう、児童相談所や子ども家庭総合支援拠点等職員の技能向上のための研修等を実施しております。

(子ども政策課)

2

昨年度の「人権教育啓発に関する施策・事業実施状況報告書」を見る中で、おでかけ公民館事業やハートフル講演会の具体的な講師、講話内容の実績が学校現場で参考になると思いました。年度当初に、前年度の具体的な開催の実績事例一覧表などを紹介いただくと学校現場としてもわかりやすいので、そのような情報発信をお願いしたいと思います。

(長尾委員)

(回答)

年度当初の校長会等で、おでかけ公民館事業やハートフル講演会の前年度の実績一覧表を配布するよう対応してまいります。

(生涯学習課)

人権擁護委員の啓発活動に中学校を対象とした「デートDV」に関するものがあります。現在、どこの中学校で啓発活動するかは、人権擁護委員が学校に出向いてお願いする形をとっています。しかし、学校との調整が難しい現状であるため、行政に関わっていただき、選定の協力していただくと大変ありがたいのでご協力をお願いしたいと思います。

(上内委員)

(回答)

中学生に対する「デートDV」の啓発活動は大切だと認識しています。学校現場では、「デートDV」について、人権としての視点からだけではなく、警察からの視点であったり、性教育の視点であったり、いろいろな視点から講話等がすでに行われております。このようなことから、今の状況としては、毎年、何校かを選定するというのは難しい状況ですが、今回のご提案を受け、講師紹介の依頼等があった際に紹介させていただくことは可能と考えておりますので、その折はよろしく願いいたします。

(人権教育指導室)